

目標達成計画

作成日: 平成24年11月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-6-(5)	事業所として身体拘束マニュアルを作成し、それに基づいて議論や定期的な研修を積み重ねる事を期待したい。	「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を身体拘束排除の取り組みとして職員全員が理解する。	「『禁止の対象となる具体的な行為』を盛り込んだ身体拘束マニュアル」を作成し、年1回職員に研修を行う。	6ヶ月
2	I-10-(6)	意見や要望は事業所として財産になる。全職員は共有し、些細な意見や要望でも地道に苦情処理簿に記入してサービスの質をより一層高めることを期待したい。	入居者及び家族の意見を現場のケアに活かす。	入居者及び家族の要望を「苦情・相談」記録として記し、ケアカンファレンスに反映することで、現場のケアに活かす。	6ヶ月
3	Ⅲ-35-(13)	自治会に防災委員会があれば参加し、事業所独自の避難誘導マニュアル(特に夜間時を想定した火災や地震・水害)を作成し、それに基づいた訓練を重ねる事を期待したい。	地域と共働で防災訓練を行う。更に事業所独自の災害時避難誘導(特に夜間)マニュアルに基づいた訓練を定期的に行うことで災害時に備える。	平成25年1月20日に実施される自治会の防災訓練に参加する。「避難誘導マニュアル」を職員全員で協議しながら作成し、火災時のみならず、地震や津波等の災害時に対応できる柔軟な形の訓練を定期的に行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。